

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関 国際事務局



(43) 国際公開日 2004年3月4日 (04.03.2004)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 2004/018175 A1

(51) 国際特許分類7: B29C 35/04 // F16L 41/02, B29L 30:00

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2003/008678

(22) 国際出願日:

2003 年7 月8 日 (08.07.2003)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ: 特願2002-199951

2002年7月9日 (09.07.2002) JP

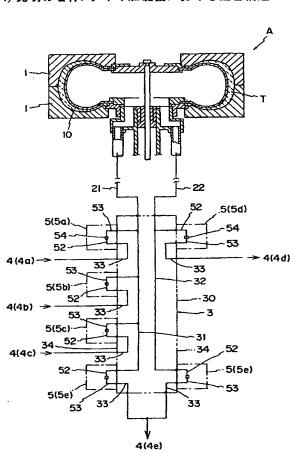
(71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): 株式会社 市丸技研 (ICHIMARU GIKEN CO., LTD.) [JP/JP]; 〒 833-0016 福岡県 筑後市 大字常用 6 O 1 Fukuoka (JP).

- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 市丸 寛展 (ICHI-MARU, Hironobu) [JP/JP]; 〒833-0016 福岡県 筑後市 大字常用601株式会社市丸技研内 Fukuoka (JP).
- (74) 代理人: 平田 義則 (HIRATA, Yoshinori); 〒814-0002 福岡県福岡市早良区西新一丁目7番25号 Fukuoka (JP).
- (81) 指定国(国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG. BR. BY. BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL,

/続葉有/

(54) Title: PIPING STRUCTURE IN TIRE-VULCANIZING MACHINE

(54) 発明の名称: タイヤ加硫機における配管構造



(57) Abstract: A piping structure in a tire-vulcanizing machine, having a simple structure. In the structure, a valve has excellent operability, and maintenance work such as valve replacement is facilitated. A compact valve unit can be structured with the structure. A block-side connection face (34) formed substantially perpendicular to a vertically long block main body (30) and a valve-side connection face (56) formed substantially perpendicular to one side of the outer faces of a valve main body (50) are connected face to face. Panel valves (5) are installed on the block main body with the valves being arranged in the vertical direction. Main flow passages (31, 32) formed inside the block main body and flow passages (51, 52) formed inside each of the panel valves are connected.

SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

請求の範囲の補正の期限前の公開であり、補正書受 額の際には再公開される。

2文字コード及び他の略語については、定期発行される 各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語 のガイダンスノート」を参照。

添付公開書類:

-- 国際調査報告書

(57) 要約:

簡素な構造で、しかもパルブの操作性がよく、また、パルプ交換等の保守作業が簡単にでき、コンパクトなバルブユニットに形成できるようにしたタイヤ加硫機における配管構造に関する。

上下方向に長いブロック本体30にほぼ垂直に形成したブロック側接続面34と、バルブ本体50の外面一側にほぼ垂直に形成されたバルブ側接続面56を面合接続した状態で、複数個のパネルバルブ5が上下方向に並んでブロック本体に取り付けられ、前記ブロック本体の内部に形成した主流路31,32と各パネルバルブの内部に形成した流路51,52が接続されている。



明細書

タイヤ加硫機における配管構造

技術分野

本発明は、タイヤ加硫機に設けたブラダーに流体を供給・排出するための 配管構造に関する。

背景技術

タイヤ加硫機は、上下の金型と、流体の供給・排出によって拡縮するブラダーを備え、前記金型の内部にセットした生タイヤの内面に、流体の供給によって膨張したブラダーを押し付けることで、生タイヤを加硫成形するようになっている。

前記ブラダーの内部には、主配管が接続され、この主配管には、複数のバルブを介して複数の枝配管(蒸気供給配管、ガス供給配管、シェービングガス供給配管、ガス回収配管、排気配管等)が接続されている。

このように、主配管には、それぞれ複数個のバルブを介して複数の枝配管が接続されている。

従来、主配管に対する各バルブ及び各枝配管の配管構造には、フランジ若 しくは内ネジ、外ネジを有した2方向や3方向、4方向の切り換えバルブを 用い、これらを1ヶ所に集合させてバルブユニットを形成するようになって いた。

このようにバルブユニットを形成すれば、スペースの有効利用を図ることができるが、従来では、各バルブと枝配管と主配管を接続する際に、配管にネジ切り加工したり、フランジを溶接するなど、配管を任意の形状に加工し、そして、これら多くの配管とバルブを組み合わせて最終的にバルブユニット

を形成するようにしていた。

このため、従来では、多くの配管やフランジによって配管構造が複雑で窮屈になり、配管の保温に手間がかかるし、保守のためのバルブ交換に多大の手間がかかるし、又、それらバルブの操作保守領域を確保すると、バルブユニットが大きくなるなどの問題があった。

また、配管からドレンを抜く際にも、多くの配管が複雑に入り込んでいる し、配管がほぼ水平になっているため、ドレンが溜まって抜けが悪いという 問題があった。

本発明はかかる従来の問題点を解決するためになされたものであって、簡素な構造で、しかもバルブの操作性がよく、また、バルブ交換等の保守作業が簡単にでき、配管領域の少ないコンパクトなバルブユニットに形成できるようにしたタイヤ加硫機における配管構造を提供することを課題としている。

発明の開示

上記課題を解決するために、本発明のタイヤ加硫機における配管構造 (請求項1) は、

上下の金型と、流体の供給・排出によって拡縮するブラダーを備え、前記 金型の内部にセットした生タイヤの内面に、流体の供給によって膨張したブ ラダーを押し付けるようにしたタイヤ加硫機において、

前記プラダーの内部に接続した主配管に接続される主流路と、複数の枝配管に接続される複数の副流路がプロック本体の内部に形成されたパネルプロックと、

バルプ本体の内部に弁口を開閉させる弁体が設けられ、この弁体による弁口の開放状態で流入路と流出路が連通し、前記弁体による弁口の開閉により流入路と流出路が連通・遮断されるようにした複数個のパネルバルプとを備

え、

前記パネルブロックのブロック本体は、上下方向に長く形成されると共に、 その側面にブロック側接続面がほば垂直に形成され、

前記バルブ本体の外面一側にバルブ側接続面がほぼ垂直に形成され、この バルブ側接続面を前記プロック側接続面に面合接続した状態で、複数個のパネルバルブが上下方向に並んでプロック本体に取り付けられ、

各パネルバルブの取り付け部において、パネルバルブのバルブ側接続面には前記流入路への第1流入口及び流出路からの第1流出口が形成され、パネルブロックのブロック側接続面には前記主流路への第2流入口及び副流路からの第2流出口が形成され、前記第1流入口と第2流出口が符合すると共に、第2流入口と第1流出口が符合する状態に、前記バルブ側接続面とブロック側接続面が面合接続されている構成とした。

前記配管構造において、蒸気供給バルブ、ガス供給バルブ、シェービング ガス供給バルブ、ガス回収バルブ、排気バルブ等を含む前記複数のパネルバ ルブのうち、前記排気バルブが最下位置に配設されている態様(請求項2) がある。

図面の簡単な説明

図1は本発明の1実施例にかかるタイヤ加硫機における配管構造の模式図である。

図2は配管構造におけるパネルバルブの取り付け構造を示す切欠断面平面 図である。

図3はパネルバルブの側面図である。

発明を実施するための最良の形態

以下本発明の実施の形態を図面に示す実施例に基づいて説明する。

図1は本発明の1実施例にかかるタイヤ加硫機における配管構造の模式図、図2は配管構造におけるパネルバルブの取り付け構造を示す切欠断面平面図、図3はこのパネルバルブの側面図である。

タイヤ加硫機 A は、上下の金型 1, 1 と、加熱流体の供給・排出によって 拡縮するプラダー 1 0 を備え、前記金型 1, 1 の内部にセットした生タイヤ Tの内面に、流体の供給によって膨張したブラダー 1 0 を押し付けることで、 生タイヤ T を保持させながら加硫成形するようになっている。

前記ブラダー10の内部には、流体供給管21(主配管)と、流体排出管22(主配管)が接続され、この流体供給管21及び流体排出管22は、パネルブロック3のブロック本体30の内部に形成した流体供給流路31(主流路)と、流体排出流路32(主流路)に接続されている。

前記プロック本体30の内部には、主流路としての前記流体供給流路31 及び流体排出流路32の他に、複数の枝配管4(蒸気供給配管4a、ガス供 給配管4b、シェービングガス供給配管4c、ガス回収配配管4d、排気配 管4e)に接続された複数の副流路33が形成されている。

又、前記パネルブロック3のブロック本体30は、上下方向(図2では紙面表裏方向)に長く形成されると共に、その側面にブロック側接続面34がほぼ垂直に形成され、このブロック側接続面34に前記各枝配管4に対応する複数個のパネルバルブ5が上下方向に並んで取り付けられている。

なお、前記複数のパネルバルブ5としては、蒸気供給バルブ5a、ガス供給バルブ5b、シェービングガス供給バルブ5c、ガス回収配バルブ5d、排気バルブ5eがあり、前記排気バルブ5eが最下位置に配設されている。

前記パネルバルブ5は、図2で示すように、バルブ本体50の内部に、弁

口51で連通する流入路52と流出路53が形成され、前記弁口51に設けた弁体54の開放状態で流入路52と流出路53が連通し、前記弁体54による弁口51の閉鎖状態(図2で示す状態)で流入路52と流出路53が遮断されるように形成されている。

なお、前記弁体 5 4 は、バルブステム 5 5 の先端に取り付けられ、このバルブステム 5 5 の上端に取り付けたピストン(図示省略)の往復作動に伴ない上下往復移動して、弁口 5 1 を開閉させる直動形ピストンバルブになっている。

前記バルブ本体50の外面一側には、バルブ側接続面56がほぼ垂直に形成され、このバルブ側接続面56を前記ブロック側接続面34に面合接続した状態で、複数個のパネルバルブ5が上下方向に並んでブロック本体30に取り付けられている。

この場合、各パネルバルブ5の取り付け部において、パネルバルブ5のバルブ側接続面56には前記流入路52への第1流入口52a及び流出路53からの第1流出口53aが形成されている。

一方、パネルブロック3のブロック側接続面34には前記主流路としての流体供給流路31又は流体排出流路32への第2流入口31a及び副流路33からの第2流出口33aが形成されている。

そして、前記第1流入口52aと第2流出口33aが符合すると共に、第 2流入口31aと第1流出口53aが符合する状態に、前記バルブ側接続面 56とブロック側接続面34がガスケットパッキン6を介して面合接続され ている。

なお、前記プロック側接続面34にスタッドポルト70が取り付けられ、 前記バルブ側接続面56からバルブ本体50を貫通させたポルト取付用貫通 穴57に前記スタッドポルト70を挿通させて、その先端をナット71で締

め付けたバルブ取り付け構造になっている。

従って、本実施例の配管構造では、上下方向に長く形成したブロック本体30の内部に、主流路としての流体供給流路31と流体排出流路32を形成したので、その分、配管が不要になり、簡素な構造で、コンパクトなバルブコニットに形成できる。

また、ブロック本体30の側面に形成したブロック側接続面34に複数個のパネルバルブ5を上下方向に並べて取り付けたので、各パネルバルブ5を 一方から操作することができ、操作性を向上させることができるし、バルブ 交換等の保守作業が簡単にできる。

又、上下方向に長く形成したブロック本体30の内部に、主流路としての流体供給流路31と流体排出流路32を形成したので、ドレンが流下し易くなるし、実施例のように、複数のパネルバルブ5のうち、排気バルブ5eを最下位置に配設させると、主流路の下端に流下するドレンを一気に放出させることができ、ドレン排出に必要な時間を短縮させて、結果的に、タイヤ加硫のためのサイクルタイムを短縮させることができる。

なお、上記した実施例では、パネルブロック3のブロック本体30を1個とし、このブロック本体30に主流路としての流体供給流路31及び流体排出流路32を形成しているが、ブロック本体を2個とし、一方のブロック本体に主流路としての流体供給流路を形成し、他方のブロック本体に主流路としての流体排出流路を形成させるようにしてもよい。

又、複数のパネルバルブとしては、前記した5個のバルブ(蒸気供給バルブ、ガス供給バルブ、シェービングガス供給バルブ、ガス回収配バルブ、排気バルブ)に限らず、その他の流体供給用バルブや他の目的の排出バルブを取り付ける場合を含む。

産業の利用可能性

以上説明してきたように本発明の配管構造(請求項1)にあっては、ブロック本体を上下方向に長く形成したパネルブロックを用い、このパネルブロックのブロック本体に、複数個のパネルバルブを上下方向に並べて取り付けるようにしたので、簡素な構造に組み立てることができ、コンパクトなバルブユニットに形成することができる。

また、バルブの操作性を向上できるし、バルブ交換等の保守作業が簡単にできる。

また、上下方向に長く形成したブロック本体に内部に、主流路を形成したので、ドレンが流下し易くなり、特に、複数のパネルバルブのうち、排気配管に副流路を介して接続されたパネルバルブを最下位置に配設させると(請求項2)、主流路の下端に流下するドレンを一気に放出させることができ、ドレン排出に必要な時間を短縮させることができる。

請求の範囲

1. 上下の金型と、流体の供給・排出によって拡縮するブラダーを備え、 前記金型の内部にセットした生タイヤの内面に、流体の供給によって膨張し たブラダーを押し付けるようにしたタイヤ加硫機において、

前記ブラダーの内部に接続した主配管に接続される主流路と、複数の枝配管に接続される複数の副流路がブロック本体の内部に形成されたパネルブロックと、

バルブ本体の内部に弁口を開閉させる弁体が設けられ、この弁体による弁口の開放状態で流入路と流出路が連通し、前記弁体による弁口の開閉により流入路と流出路が連通・遮断されるようにした複数個のパネルバルブとを備え、

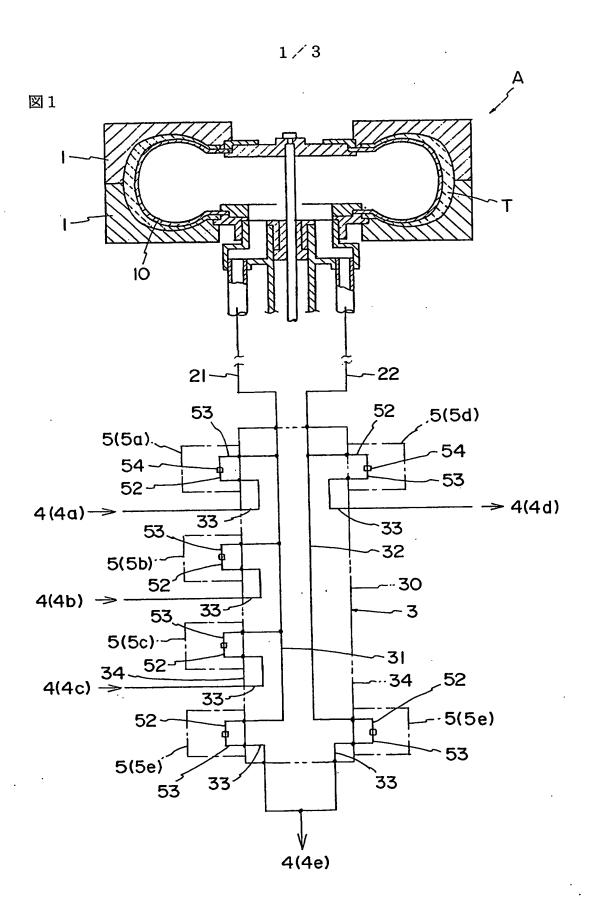
前記パネルブロックのブロック本体は、上下方向に長く形成されると共に、 その側面にプロック側接続面がほぼ垂直に形成され、

前記バルブ本体の外面一側にバルブ側接続面がほぼ垂直に形成され、この バルブ側接続面を前記ブロック側接続面に面合接続した状態で、複数個のパネルバルブが上下方向に並んでブロック本体に取り付けられ、

各パネルバルブの取り付け部において、パネルバルブのバルブ側接続面には前記流入路への第1流入口及び流出路からの第1流出口が形成され、パネルブロックのブロック側接続面には前記主流路への第2流入口及び副流路からの第2流出口が形成され、前記第1流入口と第2流出口が符合すると共に、第2流入口と第1流出口が符合する状態に、前記バルブ側接続面とブロック側接続面が面合接続されていることを特徴とするタイヤ加硫機における配管構造。

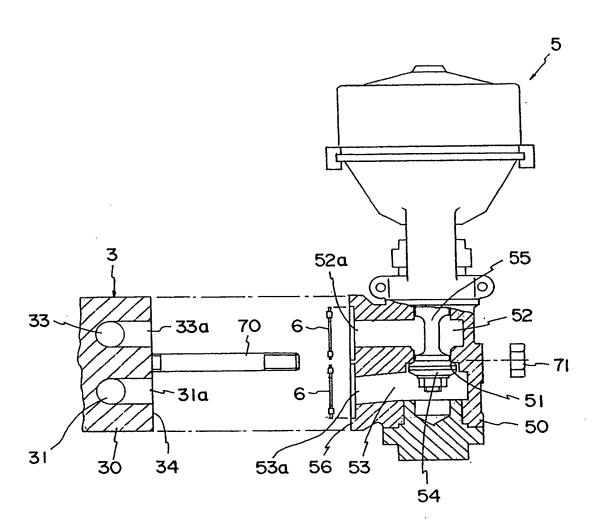
2. 請求項1記載の配管構造において、蒸気供給バルブ、ガス供給バル

ブ、シェービングガス供給バルブ、ガス回収バルブ、排気バルブ等を含む前 記複数のパネルバルブのうち、前記排気バルブが最下位置に配設されている タイヤ加硫機における配管構造。



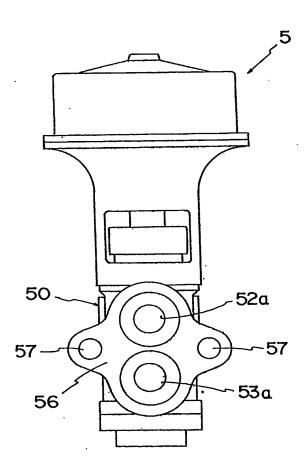
2/3

図 2



3 / 3

図3





International application No.
PCT/JP03/08678

| | | | | | |
|---|---|--|---|--|--|
| A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int.Cl ⁷ B29C35/04//F16L41/02, B29L30:00 | | | | | |
| According to | According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC | | | | |
| | SEARCHED | | | | |
| Minimum do Int.(| Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) Int.Cl ⁷ B29C35/02-35/04, F16L41/02 | | | | |
| Jitsu Kokai | Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Jitsuyo Shinan Koho 1926–1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994–2003 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971–2003 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996–2003 | | | | |
| Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) | | | | | |
| C. DOCUM | MENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT | | - | | |
| Category* | Citation of document, with indication, where app | | Relevant to claim No. | | |
| Y A | US 5238643 A (SUMITOMO RUBBER 24 August, 1993 (24.08.93), Column 4, line 64 to column 5 & JP 3-215010 A Page 3, lower right column, 1 upper right column, line 11; | , line 34 ine 20 to page 4, | 1 2 . | | |
| Y | JP 11-2384 A (Sony Corp.), 06 January, 1999 (06.01.99), Par. No. [0009] (Family: none) | | .1 | | |
| × Furth | ner documents are listed in the continuation of Box C. | See patent family annex. | | | |
| "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed Date of the actual completion of the international search Date of the actual completion of the international search Date of the actual completion of the international search Date of the actual completion of the international search | | priority date and not in conflict with the understand the principle or theory and document of particular relevance; the considered novel or cannot be considered step when the document is taken along document of particular relevance; the considered to involve an inventive ste combined with one or more other such combination being obvious to a perso document member of the same patent. Date of mailing of the international sear | priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art | | |
| Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office Author | | Authorized officer | | | |
| Facsimile No | | Telephone No. | | | |



International application No. PCT/JP03/08678

| ategory* | Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages | Relevant to claim No. |
|----------|---|-----------------------|
| Y | CD-ROM of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 19590/1993(Laid-open No. 78690/1994) (Nippon Tairan Kabushiki Kaisha), 04 November, 1994 (04.11.94), Par. No. [0002] (Family: none) | 1 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | - | |



| Α. | 発明の属する分野の分類 | (国際特許分類 | (IPC)) |
|----|------------------------|------------------------|--------------------|
| Λ. | 7071V/M17 QJJJ71V/JJXX | VE3 DV 1.1 b 1 7.7 224 | \ - - - / / |

Int.C17B29C35/04 // F16L41/02, B29L30:00

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int.C1' B29C35/02-35/04, F16L41/02

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報

1926-1996年

日本国公開実用新案公報 1971-2003年

日本国登録実用新案公報 1994-2003年

日本国実用新案登録公報 1996-2003年

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

| C. 関連すると認められる文献 | | |
|-----------------|--|----------|
| 引用文献の | | 関連する |
| カテゴリー* | 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 | 請求の範囲の番号 |
| Y | US 5238643 A (SUMITOMO RUBBER I | 1 |
| A | NDUSTRIED LIMITED) 1993. 08. 24, 第 | 2 |
| 1 | 4欄第64行-第5欄第34行 & JP 3-215010 | |
| | A, 第3頁右下欄第20行一第4頁右上欄第11行、図面 | , |
| 1 | 11) 30 0 30 1 1 1 1 20 1 20 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | |
| Y | JP 11-2384 A (ソニー株式会社) 1999.01.0 | 1 |
| 1 * | 6, 【0009】 (ファミリーなし) | |
| | | |
| Y | 日本国実用新案登録出願5−19590号(日本国実用新案登録出 | 1 |
| Y | 日本国美州制泉登跡山殿3-19390号(日本国美州制架登跡山 顧公開6-78690号)の願書に添付した明細書及び図面の内容 | * |
| | 一般公用り一10030万)の順番に称りした内型省及の区面の内容 | |

区欄の続きにも文献が列挙されている。

□ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

国際調査機関の名称及びあて先

- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す もの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す)
- 「O」ロ頭による開示、使用、展示等に言及する文献

日本国特許庁(ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査報告の発送日 24.12.03 国際調査を完了した日 10.12.03

> 特許庁審査官(権限のある職員) 岩田 行剛

2931 4 F

電話番号 03-3581-1101 内線 3430



国際出願番号 CT/JP03/08678

| C (続き). 引用文献の | 関連すると認められる文献 関連する | |
|------------------|--|----------|
| カテゴリー* | 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 | 請求の範囲の番号 |
| | を記録したCD-ROM (日本タイラン株式会社) 1994.1 1.04,【0002】 (ファミリーなし) | |
| | | |
| | | |
| · | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| : | | |